

「平成24年度～生徒指導総合研修」報告

教諭 高橋 直樹

- 1 目的 不登校・いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題にリーダーとして対応するために、危機管理の在り方や児童生徒個々への対応と学級や学校といった集団づくりの視点を中心として、必要な理論及び学校の課題に応じた実践の在り方等について理解を深める。
- 2 主催 秋田県教育委員会
- 3 共催 文部科学省
- 4 期間 平成24年6月29日（金）、10月25日（木）、26日（金）
- 5 会場 秋田県総合教育センター
- 6 日程
 - 6月29日（金）
 - ・ 10：00～12：00 いじめなどの問題行動の理解と対応（講義・演習）
 - ・ 13：00～14：30 学級集団の分析とその対応（講義・演習）
 - ・ 14：45～16：15 『温かいメッセージ』のソーシャル（公開講演）
スキル教育
 - 10月25日（木）
 - ・ 10：00～12：00 不登校の未然防止と再登校援助（講義・演習）
 - ・ 13：00～16：15 学校教育における人間関係作り（講義・演習）
～社会性を育むプロセス等について～
 - 10月26日（金）
 - ・ 9：00～11：30 危機管理における心のケア（講義）
 - ・ 11：30～12：00 校内研修・事例検討会に生かす
～インシデントプロセス法～（講義）
 - ・ 13：00～15：15 事例を通して見た不登校・いじめ（協議）
・ 問題行動への具体的な対応
- 7 感想 構成的グループエンカウンターのみならず、Q-Uといった新しい手法を知ることが出来、参考になった。いじめや不登校・問題行動といった様々な問題を減少させるためには、居心地のいい学級を形成することが一番だと再認識した。ただし、学校だけでは対応しきれないケースも考えられるので、医療機関や専門機関と上手く連携しながら対応にあたる必要があることを理解できた。